

新日本フィルハーモニー交響楽団
アニュアルレポート 2013-2014

Annual Report

Contents

■ 25年度（平成25年4月1日～平成26年3月31日）活動概要

1. はじめに	1
2. 活動内容と演奏の記録	1
3. 運営状況	8
4. 今年度（平成26年度）について	11
5. ご来場者アンケート結果	11
■ 寄附者一覧	12
特別支援企業／団体・賛助会（法人・個人）・維持会・新日本フィルを支えるすみだの会（法人・個人）	
■ 助成・ご協賛一覧	15
■ 楽団概要・楽団員一覧	16
■ 役員・評議員・顧問・団友一覧	17

■ 新日本フィルハーモニー交響楽団 New Japan Philharmonic, orchestra



Photo : K.MIURA

「一緒に音楽をやろう！」1972年、指揮者・小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。以来、優れた企画と充実した演奏で注目を集めてきた。97年より墨田区に本拠地を移転、「すみだトリフォニーホール」で日常の練習と公演を行う日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や海外公演等で高い評価を得る一方、地元の学校、各種施設での地域に根ざした演奏活動も特徴的。06年『火刑台上のジャンヌ・ダルク』で第3回三菱信託音楽賞奨励賞受賞、09年『七つの封印を有する書』で第18回三菱UFJ信託音楽賞を受賞（以上アルミンク指揮）。同年の「ハイドン・プロジェクト」（ブリュッヘン指揮）では第22回ミュージック・ペンクラブ音楽賞受賞。11年の「ベートーヴェン・プロジェクト」でも絶賛を博した。10年よりダニエル・ハーディングが“Music Partner of NJP”に就任。就任披露公演となった東日本大震災当日の演奏会はNHKのドキュメンタリー番組にもなり大きな反響を呼んだ。11年と12年、中国ツアーを行い現地で高い評価を得た。13年秋より、新たにインゴ・メッツマッハーがConductor in Residenceとして指揮者陣に加入。この他、04年に音楽家・久石譲と“新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ”を立ち上げたほか、映画『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』『崖の上のポニョ』では管弦楽を担当している。近年その斬新な企画と優れた演奏は高く評価されている。2012年、創立40周年を迎えた。

- 公式ウェブサイト <http://www.njp.or.jp/>
- 公式ツイッター @newjapanphil
- 公式Facebook: <http://www.facebook.com/newjapanphil>

1. はじめに

新日本フィルハーモニー交響楽団は2012年に創立40年を迎え、それに続く2013年度は、また別の節目を迎え新たなスタートを切った一年となりました。10年間、共に音楽を作り上げてきた音楽監督クリスティアン・アルミンク氏が8月に退任、そして9月よりConductor in Residence インゴ・メッツマッハー氏、Music Partner of NJPダニエル・ハーディング氏二人を指揮者陣の中核とし新たな道を歩み始めました。

クリスティアン・アルミンクの音楽監督として最終公演となる第513回トリフォニー定期では、音楽監督就任の際と同プログラムのマーラー／交響曲第3番を演奏いたしました。演奏終了直後のホール内の沈黙の長さ、そしてその後の鳴り止まない温かい拍手は、楽団員、スタッフ、そしてご来場いただいた皆様にとりまして特別なコンサートとなり、ホールにいる全員が一つになった瞬間でした。アルミンク氏と作り上げてきた10年間は新日本フィルの歴史の中にしっかりと刻まれました。

そして、メッツマッハー氏ハーディング氏と共に、オーケストラに対する強い想いのもと、新しい歴史を刻むべく新シーズンが9月から始まりました。

記者会見においても彼らの強い想いを語ってくれました。

Conductor in Residence インゴ・メッツマッハー

「異文化である西洋音楽にリスペクトがありすぎるのではないか。文化を理解するということは、完全に受け入れること、完全にその中に身を置くこと、体ごと委ねること、それが一番大切で、西洋音楽をもっと自分たちのものとして身をゆだねてほしい。NJPは技術的には問題なく客観的な態度で臨む作品については何も問題がないが、もっと、より音楽のなかに入り込んでもらいたい。もっと献身的な姿勢でぶつかってきてほしいと感じる。ダニエルと話し合って、自分から音楽に向かっていかなければならないようなレパートリーを取り入れることで、音楽に身をゆだねる献身的な演奏を引き出していければいいと思う。」

Music Partner of NJP ダニエル・ハーディング

「日本人は西洋音楽に対して礼儀正しすぎるように思う。音楽に対しては深い敬意の念と、そしてそれに対する限りない深い気持ちをもつことは大事だが、それが強すぎると距離が出来てしまうのではないか。手を汚さずして真の音楽は掴み取れない。音楽は浸してはならぬと神棚に飾っておくようなものではなく、常にコミュニケーションをとることが必要だ。」

2013年度も皆様からのあたたかいご支援、そしてコンサートへのご来場、本当にありがとうございます。

以下、2013年度の活動内容、実績について財務内容も含めご報告申し上げます。

2. 活動の内容と演奏の記録

<定期演奏会>

定期演奏会は、芸術性を求める楽団の根幹となるシリーズとして、多くの方にご支持いただいております。

またリハーサルを本番と同じトリフォニーホールですることにより、音楽面での向上にもつながっております。

1. トリフォニー・シリーズ (計18回)

会場：すみだトリフォニーホール

トリフォニー・シリーズは同一プログラムで1夜、2夜の2回行っており、2013年度は9プログラム×2回の計18公演を行いました。2013年度8月まではクリスティアン・アルミンク氏の音楽監督としての最終シーズン、9月からはインゴ・メッツマッハー氏とダニエル・ハーディング氏を中心とした新体制のスタートのシーズンとなり、転換期となる1年でありました。

アルミンク指揮最終公演は音楽監督就任当初に演奏した「マーラー／交響曲第3番」、メッツマッハー氏の就任披露公演は「ワーグナー／楽劇ワルキューレ第1幕 (演奏会形式)」などをお届けしました。

新旧のシーズンの節目として話題になる公演が多かった他、大野和士氏やハウシルト氏との共演などでも大きな支持を得ることができました。

- ・第507回 4月19日(金)／4月20日(土)
指揮：クリスティアン・アルミンク (音楽監督)
ピアノ：清水和音^(※)
ブラームス／ピアノ協奏曲第2番変ロ長調op.83^(※)
シューマン／交響曲第4番ニ短調op.120
- ・第509回 6月21日(金)／6月22日(土)
指揮：ダニエル・ハーディング (Music Partner of NJP)
マーラー／交響曲第6番イ短調『悲劇的』
- ・第511回 7月5日(金)／7月6日(土)
指揮：大野和士
シャリノー／『夜の肖像』(1982) ^{※日本初演}
ツィンマーマン／『ユビュ王の晩餐のための音楽』
ブルックナー／交響曲第7番ホ長調 (ノーヴァク版、1954)
- ・第513回 8月2日(金)／8月3日(土)
指揮：クリスティアン・アルミンク (音楽監督)
アルト：藤村実穂子
女声合唱：栗友会合唱団 合唱指揮：栗山文昭
児童合唱：東京少年少女合唱隊 児童合唱指揮：長谷川久恵
マーラー／交響曲第3番ニ短調



Photo: K.MIURA

- ・第514回 9月6日(金)／9月7日(土)
指 揮：インゴ・メッツマッハー (Conductor in Residence)
ジークリンデ：ミヒャエラ・カウネ (*)
ジークムント：ヴィル・ハルトマン (*)
フンディング：リアン・リ (*)
R.シュトラウス／交響詩『ツァラトゥストラはかく語りき』op.30
ワーグナー／楽劇『ワルキューレ』第1幕 (演奏会形式) (*)



Photo : K.MIURA

- ・第516回 10月13日(日)／10月14日(月・祝)
指 揮：下野竜也
チェロ：ルイジ・ピオヴァノ (*)
シューマン／チェロ協奏曲イ短調op.129 (*)
ブルックナー／交響曲第6番イ長調
- ・第517回 11月8日(金)／11月9日(土)
指 揮：ダニエル・ハーディング (Music Partner of NJP)
マーラー／交響曲第7番ホ短調『夜の歌』

<2014年>

- ・第519回 1月24日(金)／1月25日(土)
指 揮：ヴォルフ＝ディーター・ハウシルト
シューベルト／交響曲第4番ハ短調『悲劇的』D147
ブルックナー／交響曲第4番変ホ長調『ロマンティック』
(1878/80ノヴァク版)



Photo : K.MIURA

- ・第522回 3月14日(金)／3月15日(土)
指 揮：準・メルクル
シューマン／『ゲーテの「ファウスト」のための情景』序曲
シェーンベルク／浄められた夜op.4 (弦楽合奏版)
ベートーヴェン／交響曲第7番イ長調op.92

2. サントリーホール・シリーズ (計8回)

会場：サントリーホール

定期演奏会のもう一つの柱としてサントリーホールで定期演奏会を行っています。2013年度は8回の公演を実施しました。サントリーホールは世界的にも著名なホールとして内

外の代表的オーケストラが日々演奏を行っておりますが、ここで演奏機会を持つことで、様々なオーケストラを聴いている方々に聴き比べてもらい、新日本フィルの真価を問う場ともなっています。演目としてはブラームス、チャイコフスキーなどの古典的名曲の中にルストワフスキ、ヴィトマン、コンサートマスターの豊嶋をソリストとした三善晃氏の近現代の名曲もちりばめ、時代的にも地理的にも幅広く取り上げました。指揮者にクリストフ・ウルリヒ・マイヤー氏、独唱に楽団との共演も多い藤村実穂子氏を迎えた第518回公演、指揮にジャン＝クリストフ・スピノジ氏を迎えカルメン、ボレロなど名曲を揃え演出にも凝った第520回定期などは多くの聴衆を魅了、喝采を浴びました。

- ・第506回 4月11日(木)
指 揮：クリスティアン・アルミンク (音楽監督)
ブルックナー／交響曲第5番変ロ長調 (1951年、ノヴァク版)
- ・第508回 5月16日(木)
指 揮：井上道義
シヨスタコーヴィチ／『黄金時代』組曲op.22a
ルトスワフスキ／葬送音楽
ブラームス／交響曲第2番ニ長調op.73
- ・第510回 6月28日(金)
指 揮：ダニエル・ハーディング (Music Partner of NJP)
シベリウス／交響曲第5番変ホ長調op.82
ヴィトマン／トイフェル・アモール
—シラーによる交響的頌歌 (2011) 日本初演
シューマン／交響曲第3番変ホ長調『ライン』op.97



Photo : S.Aoyagi

- ・第512回 7月26日(金)
指 揮：クリスティアン・アルミンク (音楽監督)
ヴァイオリン：豊嶋泰嗣 (*) (新日本フィル・ソロ・コンサートマスター)
三善晃／ヴァイオリン協奏曲 (1965) (*)
ストラヴィンスキー／バレエ音楽『プルチネラ』
メンデルスゾーン／交響曲第4番イ長調『イタリア』op.90
- ・第515回 9月14日(土)
指 揮：インゴ・メッツマッハー (Conductor in Residence)
ムソルグスキー (R.コルサコフ編)／歌劇『ホヴァーンシチナ』
前奏曲「モスクワ川の夜明け」
スクリャービン／法悦の詩op.54
チャイコフスキー／交響曲第5番ホ短調op.64
- ・第518回 11月29日(金)
指 揮：クリストフ・ウルリヒ・マイヤー
独 唱：藤村実穂子 (*)
マルシュナー／歌劇『吸血鬼』序曲
マルシュナー／歌劇『ハンス・ハイリング』より
ゲルトルートモノローグ (*)
ワーグナー／楽劇『トリスタンとイゾルデ』より『前奏曲と愛の死』 (*)

ウェーバー／歌劇『オイリアンテ』op.81序曲
ワーグナー（マイヤー編）／『パルジファル』組曲^(※)

<2014年>

・第520回 2月27日（木）

指揮：ジャン＝クリストフ・スピノジ

合唱：栗友会合唱団^(※)

合唱指揮：栗山文昭

ビゼー／歌劇『カルメン』より^(※)

第1幕 前奏曲、広場を人々が通る、タバコ女工たちの合唱

第2幕 間奏曲 第3幕 間奏曲 第4幕 闘牛士の行進と合唱

ラヴェル／亡き王女のためのパヴァーヌ

ドビュッシー／牧神の午後への前奏曲

ラヴェル／ラ・ヴァルス

ドビュッシー（カブレ編）／『ベルガマスク組曲』より月の光

ラヴェル／ボレロ

・第521回 3月6日（木）

指揮：準・メルクル

ストラヴィンスキー／交響的幻想曲『火花』op.4

ドビュッシー／バレエ音楽『遊戯』

ベルリオーズ／幻想交響曲 ―ある芸術家の生涯のエピソード op.14

新・クラシックへの扉 ～ 金曜・土曜午後2時の名曲コンサート

（計16回）

会場：すみだトリフォニーホール

このシリーズは、多くの皆様にまずクラシック音楽を楽しんでいただき、その世界へ足を踏み入れていただく一歩となるよう、“クラシック音楽の普及”ということを強く意識しています。

2013年度は金曜・土曜日の公演を合わせて16回の公演を行いました。

8月に行ったベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲ニ長調では郷古廉氏の素晴らしい演奏にご来場いただいた方からも温かい拍手をいただきました。

他にもドヴォルジャークの「新世界」、モーツァルトの「交響曲第40番」、ブラームスの「交響曲第1番」等、どこかで一度は聴いたことのあるいつまでも色褪せることのない名曲の数々をお求めやすい廉価な価格で楽しんでいただいております。特にこのシリーズは、学校の芸術鑑賞会、企業のOB会などでもご利用いただくなど、ご好評をいただいております。普段オーケストラに足を運ばれていない皆様にも、クラシック音楽の素晴らしさを伝えられる機会となっております。

・第29回 5月10日（金）／5月11日（土）

指揮：飯守泰次郎

モーツァルト／セレナード第13番長調

『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』K.525

モーツァルト／交響曲第40番ト短調K.550

モーツァルト／交響曲第41番ハ長調『ジュピター』K.551

・第30回 6月7日（金）／6月8日（土）

指揮：金聖響

ピアノ：アンナ・ヴィニツカヤ^(※)

ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番ハ短調op.18^(※)

ドヴォルジャーク／交響曲第9番ホ短調『新世界より』op.95

・第31回 7月19日（金）／7月20日（土）

指揮：クリスティアン・アルミンク（音楽監督）

ピアノ：塚本聖子^(※)

モーツァルト／ピアノ協奏曲第26番ニ長調『戴冠式』K.537^(※)

チャイコフスキー／交響曲第5番ホ短調op.64



Photo : Okubo

・第32回 8月9日（金）／8月10日（土）

指揮：小泉和裕

ヴァイオリン：郷古廉^(※)

ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲ニ長調op.61^(※)

ブラームス／交響曲第1番ハ短調op.68

・第33回 10月4日（金）／10月5日（土）

指揮：十東尚宏

ピアノ 菊池洋子^(※)

ショパン／ピアノ協奏曲第1番ホ短調op.11^(※)

チャイコフスキー／交響曲第4番ハ短調op.36

・第34回 11月1日（金）／11月2日（土）

指揮：手塚幸紀

ピアノ：田村響^(※)

チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第1番変ロ短調op.23^(※)

チャイコフスキー／交響曲第6番ロ短調『悲愴』op.74

<2014年>

・第35回 2月7日（金）／2月8日（土）

指揮：エンリケ・マツォーラ

ワーグナー／歌劇『リエンツィ』序曲

レスピーギ／交響詩『ローマの噴水』

ベルリオーズ／序曲『ローマの謝肉祭』op.9

レスピーギ／交響詩『ローマの松』

・第36回 3月28日（金）／3月29日（土）

指揮：円光寺雅彦

ブリテン／青少年のための管弦楽入門op.34

ドヴォルジャーク／交響曲第9番ホ短調『新世界より』op.95

特別演奏会

自主公演では定期演奏会など上記の公演とは別に、個性豊かな演奏会の企画を練り「特別演奏会」として実施しております。定番となっております春の「親子コンサート」、夏の「サマー・コンサート」、年末の「第九」、「年越しコンサート」、新年の「ニューイヤーコンサート」を昨年も行いました。

■親子コンサート…一部の曲で、お子様にステージ上に上がってもらい、オーケストラの音の響きを耳からだけではなく体全体を通して感じていただきました。

■サマー・コンサート…コンサートで歌を唄う「うたい隊」、お客様へのおもてなしをする「おもてなし隊」を小学1年生から中学3年生から一般公募し、一緒にコンサートを作り上げ、皆様から温かい拍手をいただきました。

■第九…公演は指揮にフィリップ・フォン・シュタインネッカー氏を迎え全公演ともほぼ満席となりました。

■年越しコンサート…墨田区文化振興財団のご支援・ご協力

のもと、宮川彬良氏のプロデュースにより、大変好評をいただいております、多くの皆様とトリフォニーホールで新年を迎えました。

■ニューイヤーコンサート…お馴染みの光景になりました獅子舞、鏡割り、振る舞い酒、晴れ着姿で新春ムード一杯となりました。

■コンチェルタンテⅡ…宮川彬氏プロデュースのもと、ブルグミュラーを取り上げ、入場年齢も4歳からとし、従来にも増して幅広い層のお客様にご来場いただきました。

各公演ともそれぞれの季節に相応しい趣向を凝らし夫々で様々な新日本フィルの引き出しをお届けすることで多くの皆様に楽しんでいただきました。

特別演奏会 “親子コンサート” 計1回

- ・4月27日(土) 会場：すみだトリフォニーホール
指揮：梅田俊明
ゲスト：古今亭志ん輔
エルフマン/映画『スパイダーマン』メイン・タイトルより
J.シュトラウスⅡ/ベルシア行進曲
ライネッケ/オモチャの交響曲(子どもの交響曲)より第1楽章
グリーグ/『ペール・ギュント』第1組曲より「山の魔王の宮殿にて」
古今亭志ん輔コーナー
音楽物語『モンちゃんのズッコケ孫悟空』(杉浦邦弘・編)
ホルスト(ジェイコブ編)/組曲第1番より第1曲「シャコンヌ」
ヴェイネル(鈴木隆太編)/『キツネの踊り』
ハチャトゥリアン/『仮面舞踏会』組曲より「ワルツ」
早川正昭/バロック風『美しい日本の四季・春』より「春が来た」
サン＝サーンス/交響曲第3番『オルガン付き』第2部より(*)

特別演奏会 “サマーコンサート” 計1回

- ・7月28日(日) 会場：すみだトリフォニーホール
指揮：小松長生
ナビゲーター：朝岡 聡
久石 譲/映画『千と千尋の神隠し』より あの花へ
ロータ/映画『太陽がいっぱい』より 愛のテーマ
マンシーニ/映画『ひまわり』より 愛のテーマ
久石 譲/映画『魔女の宅急便』より
久石 譲/映画『となりのトトロ』より
オーケストラ・ストーリーズ、さんぼ
久石 譲/映画『水の旅人』
グリーグ/『ペール・ギュント』第1組曲より「朝」
モーツァルト/『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』より第2楽章
ホルスト/組曲『惑星』より 木星



第九特別演奏会 計3回

- ・12月21日(土) 会場：Bunkamuraオーチャードホール
- ・12月22日(日) 会場：サントリーホール
- ・12月23日(祝・月) 会場：すみだトリフォニーホール

- 指揮：フィリップ・フォン・シュタインネッカー
- ソプラノ：松田奈緒美 アルト：寺谷千枝子
- テノール：永田峰雄 バリトン：河野克典
- 合唱：栗友会合唱団 合唱指揮：栗山文昭
- シューベルト/水上の精霊の歌
- マーラー/5つのリュッケルトの歌より「私はこの世に捨てられて」
- ベートーヴェン/交響曲第9番二短調「合唱付き」op.125

ジルベスター・コンサート 計1回

コンチェルタンテ・スーパー “チョー年越しコンサート2013→2014”

- ・12月31日(火) 会場：すみだトリフォニーホール
指揮：ピアノ・司会：宮川彬良
ソプラノ：鮫島有美子*
合唱：栗友会合唱団* 合唱指揮：栗山文昭
合唱副指揮：横山琢哉
構成：新井陽子
風のオリヴァストロ(宮川彬良)
買い物ブギー(服部良一)*
愛のフィナーレ(宮川 泰)*
恋のパカンス(宮川 泰)*
手紙(宮川彬良)*
はな(宮川彬良)*
ゴッド・ファーザー『愛のテーマ』(ニーノ・ロータ)
大脱走マーチ(バーンスタイン)
アラベスク(ブルグミュラー)
貴婦人の乗馬(ブルグミュラー)
歌劇『あしたの瞳~もうひとつの未来』より(宮川彬良)
深い河(黒人霊歌)
シンフォニック・マンボNo.5(宮川彬良)*
若いてすばらしい(宮川 泰)*
マツケンサンバⅡ(宮川彬良)**



特別演奏会 ニューイヤーコンサート2014 計1回

- 一年の計はお正月にあり
- ・1月3日(金) 会場：すみだトリフォニーホール
指揮：広上淳一
司会：田添菜穂子
ピッコロ独奏：渡辺 泰(新日本フィル・フルート&ピッコロ奏者)(*)
J・シュトラウスⅡ/喜歌劇『こうもり』序曲
ヨーゼフ・シュトラウス/ワルツ『オーストリアの村つばめ』
J・シュトラウスⅡ/ポルカ・シュネル『雷鳴と電光』op.324
J・シュトラウスⅡ/皇帝円舞曲op.437
E・シュトラウス/ポルカ・シュネル『速達郵便で』op.259
P-A ジュナン(山口尚人編)/『ヴェニス』の謝肉祭(**)
R=コルサコフ/スペイン奇想曲op.34よりⅡ.変奏曲
ボロディン/歌劇『イーゴリ公』より「だったん人の踊り」

特別演奏会 コンチェルタンテⅡ 計2回

- ・2月11日(火・祝) 会場：文京シビックホール
- ・3月2日(日) 会場：武蔵野市民文化会館
指揮・ピアノ・司会：宮川彬良

構成：新井鷗子

チョップスティック（アメリカ民謡）

英雄ポロネーズ（ショパン）

アラベスク（ブルグミュラー）

貴婦人の乗馬（ブルグミュラー）

スティリアの女（ブルグミュラー）

バラード（ブルグミュラー）

エリーゼのために（ベートーヴェン）

はげ山の一夜（ムソルグスキー）

風のオリヴァストロ（宮川彬良）

『雪のひとひら』より 雨のしずく、海と太陽（宮川彬良）

ファンタスティック！白雪姫（F.チャール）

室内楽シリーズ

（計8回）

すみだトリフォニーホールの小ホールにて8公演実施。楽器一つ一つに焦点があたり、オーケストラでの公演とはまた違った面白さを楽しんでいただいております。開演前には、楽団員によるプレトークを行い、演奏会終了後に実施している「ワンコインパーティー」はご参加いただいた方と楽員の交流の場としてすっかり定着しています。公演後のお客様と出演者との楽しい会話風景がおなじみとなりました。各楽器の音色をしっかりと楽しんでいただき、音楽ファンを着実に増やす公演であると自負しています。

・4月18日（木）

シューマン／弦楽四重奏曲第1番イ短調op.41-1

ジョリヴェ／オーボエとファゴットのためのソナチネ

ブラームス／ピアノ四重奏曲第1番ト短調op.25

・5月15日（水）

J.シュトラウスⅡ（村松裕子編）／喜歌劇『こうもり』序曲

（コントラバス四重奏版）

マウラー／金管五重奏のための12の小品より

モーツァルト／交響曲第40番ト短調K.550（木管五重奏版）

・6月26日（水）

コダーイ／弦楽四重奏曲第1番ハ短調op.2

シューマン／ピアノ五重奏曲変ホ長調op.44

・7月25日（木）

モーツァルト／ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲ト長調K.423

ストラヴィンスキー／兵士の物語

・10月3日（木）

ドツァウアー／3つのチェロのための6つの小品

ブラームス／弦楽六重奏曲第1番変ロ長調op.18

・11月15日（金）

モーツァルト／フルート四重奏曲イ長調K.298

モーツァルト／フルート四重奏曲ニ長調K.285

チャイコフスキー／弦楽四重奏曲第1番ニ長調op.11

<2014年>

・1月22日（水）

モーツァルト／オーボエ五重奏曲ハ短調K.406a

シューベルト／弦楽四重奏曲第14番ニ短調『死と乙女』D810

・3月26日（水）

ヒンデミット／ミニマックス

『弦楽四重奏のための軍楽隊レパートリー』

モーツァルト／ディベルティメントへ長調『音楽の冗談』K.522

フランセ／八重奏曲

演奏：新日本フィル楽員

会場：すみだトリフォニーホール 小ホール

3. 地域拠点ホールでの定期演奏会

上記のトリフォニー・シリーズ、サントリーホール・シリーズとは別に、地域拠点の一つであります「バルテノン多摩」（公益財団法人多摩市文化振興財団）において定期演奏会を4回行い、うち2回を新日本フィルの主催としておこないました。新日本フィルが東京の東地区を拠点としている中、西地区においても新日本フィルの音楽をお届けする機会として継続している企画です。

内容については、主にトリフォニー・シリーズ、サントリー・シリーズと同一の公演を多摩地区の皆さんにお届けしています

多摩 定期演奏会

計4回（第85回、第86回が主催公演）

第83回 6月29日（土）

指揮：ダニエル・ハーディング（Music Partner of NJP）

シベリウス／交響曲第5番変ホ長調op.82

ヴィトマン／トイフェル・アモール—シラーによる交響的頌歌（2011）

シューマン／交響曲第3番変ホ長調『ライン』op.97

（主催：公益財団法人多摩市文化振興財団）

第84回 9月15日（日）

指揮：インゴ・メッツマッハー（Conductor in Residence）

ムソルグスキー（リムスキー＝コルサコフ編）／

歌劇『ホヴァーンシチナ』より前奏曲『モスクワ川の夜明け』

スクリャービン／『法悦の詩』op.54

チャイコフスキー／交響曲第5番ホ短調op.64

（主催：公益財団法人多摩市文化振興財団）

<2014年>

第85回 2月2日（日）

指揮：井上道義

ヴァイオリン：郷古廉^(※)

ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲ニ長調op.61^(※)

ベートーヴェン／交響曲第6番ヘ長調『田園』op.68

第86回 3月1日（土）

指揮：ジャン＝クリストフ・スピノジ

合唱：栗友会合唱団^(※)

合唱指揮：栗山文昭

ビゼー／歌劇『カルメン』より^(※)

第1幕 前奏曲、広場は人々が通る、タバコ女工達の合唱

第2幕 間奏曲 第3幕 間奏曲 第4幕 闘牛士の行進と合唱

ラヴェル／亡き王女のためのパヴァーヌ

ドビュッシー／牧神の午後への前奏曲

ラヴェル／ラ・ヴァルス

ドビュッシー（カブレ編）／『ベルガマスク組曲』より月の光

ラヴェル／ボレロ

<委託演奏会への出演>

「日本に音楽文化を普及・発展させる」という楽団の事業目的を実現するために自ら企画を立てて音楽をお届けしていますが、それが全て聴衆の皆様が求めているものと一致しているとは限りません。また新日本フィルが全ての演奏会を独自に企画・実施することには財政的な困難さが伴い、多くの方々には音楽をお届けることには限界があります。そのため全国各地の公共及び民間のホール、一般企業のCSR活動、その他コンサート制作会社などから委託を受けて多くの演奏活動を行うことによっても事業目的の実現に努めています。こうした活動は、楽団が演奏料収入を得て、楽団の運営を維持するという経済的な側面がもちろんありますが、日本津々浦々、また国境を越えて新日本フィルの音楽をお届けするために大切な活動となっています。2013年度は、新潟、山形、千葉、

埼玉、東京、神奈川、長野、岐阜、愛知、三重、大阪、島根、長崎の12都市で実施し、67回を数える公演に出演しました。ご依頼いただいた団体と相談しながら、自主公演とはまた違った形で音楽の普及に努めました。

全国各地^(※)の公共、民間のホール等の要請を受けるなど、67公演に出演

(※) 公演実施地域：新潟、山形、千葉、埼玉、東京、神奈川、静岡、長野、岐阜、三重、岡山、長崎の12都県で実施

〈コミュニティでの活動〉

新日本フィルはクラシック音楽の普及のため、また様々な事情でホールにご来場いただけない方にもクラシック音楽を楽しんでいただくため、コンサートホールだけでなく、ホールから飛び出して様々なところで演奏を行っています。定期公演などの日頃の演奏活動を行う一方で、地域の自治体などから出演にかかる費用をご支援いただきながら、弦楽四重奏など小編成のものを主体とし多くの楽団員が参加し、演奏をすることで社会に貢献しています。^(※)

内容といたしましては、病院、福祉施設等に楽団員が伺い、音楽とお話でお楽しみいただいている小編成でのコンサートを東京都墨田区、岐阜県可児市、三重県、佐世保市で行い、加えて墨田区では、フルオーケストラの編成で小中学生を対象としたオーケストラ鑑賞教室、墨田区内の小中学校体育館へ区民を招いてのコミュニティー・コンサートを実施しました。

また青少年を対象の中心として墨田区、三重県、津市、長崎県佐世保市、岐阜県可児市で楽団員による楽器指導も数多く実施いたしました。演奏を聴いていただくだけでなく、楽器の演奏指導を行うことでもクラシック音楽の普及に努めています。

こうした活動に対する要請は年々高まっており、新日本フィルにとって、また日本のオーケストラにとって、「オーケストラの存在意義」、「日本でオーケストラというものが本当に定着したのだろうか、あるいはするのだろうか」ということが議論される際に一つのポイントになるのではないかと感じております。

(※) 依頼主から要請を得ての活動が中心となっていますので出演の形態は「委託演奏会」に含まれますが、楽団員の日々の地道な社会貢献活動として「委託演奏会への出演」とは別に「アウトリーチ活動」として別に取り上げております。
「委託演奏会への出演」が社会貢献を目的としていないことを意味するものではありません。

① コミュニティー・コンサートへの出演（1回）

公益財団法人墨田区文化振興財団との共催による墨田区民を対象としてフルオーケストラでの無料コンサート

- ・ 9月29日（日）：桜堤中学校体育館
吾嬭第一中学校体育館



② 社会福祉施設等でのミニコンサートへの出演

○すみだふれあいコンサート（東京都墨田区）

計18回実施

墨田区内の福祉施設・老人ホームに楽員を延べ60名派遣して、アンサンブルを楽しんで頂きました。

<訪問実績>

・ 7月5日	亀沢のぞみの家	フルート、ヴァイオリン、チェロ	3名
・ 7月12日	墨田区役所「アウトリーチフェア」	弦楽四重奏	4名
・ 7月26日	アウトピアみどり苑	弦楽四重奏	4名
・ 7月27日	SASAYA CAFÉ	オーボエ、クラリネット、ファゴット	3名
・ 8月2日	本所保健センター	ヴァイオリン、コントラバス	2名
・ 8月26日	なりひらホーム	弦楽四重奏	4名
・ 8月28日	墨田福祉作業所(七福作業所)	ヴァイオリン、チェロ	2名
・ 10月10日	墨田区役所「ばらばら北斎漫画カフェ オープニング・コンサート」	弦楽四重奏	4名
・ 11月2日	本所地域プラザ	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・ 11月8日	白髭保育園	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3名
・ 11月20日	たちばな保育園	ヴァイオリン、トランペット、ピアノ	3名
・ 11月22日	さんさん会10周年記念会	金管五重奏	5名
・ 11月22日	すみだ福祉保健センター	弦楽四重奏	4名
・ 11月30日	すみだまち処	弦楽四重奏	4名
・ 12月26日	シルバープラザ梅若	ファゴット、ピアノ	2名
・ 2月3日	都立墨田特別支援学校	金管五重奏	5名
・ 2月18日	はなみずきホーム	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・ 3月10日	墨田区役所「平和祈念コンサート」	弦楽四重奏	4名

○おでかけコンサート（岐阜県・可児市）（2回）

岐阜県可児市の養老・介護施設、障がい者支援施設等を訪問。普段、生の演奏を聴くことができない方々を中心に音楽を楽しんでいただき、演奏以外にもレクリエーションを通じ、ふれあいの時間も持つことができました。

2回・計6か所に延べ8名の演奏家が出演し弦楽四重奏を行いました。

<訪問実績>

・ 8月21日	特別養護老人ホーム	弦楽四重奏	4名
・ 8月22日	Sunプレイス（NPOピュア・マインド） ^(※)		
	^(※) 障がい児、障がい者の日中一時預り施設	弦楽四重奏	4名
・ 8月23日	障がい者支援施設 加茂学園	弦楽四重奏	4名
・ 2月3日	NPO子育て支援センターはーとふる ^(※) ^(※) 発達障がい、知的障がいをもった子供たちの支援施設	弦楽四重奏	4名
・ 2月4日	平牧公民館	弦楽四重奏	4名
・ 2月4日	可児工業団地管理センター	弦楽四重奏	4名

○「家へおいでよ！（企画名）（公募型コンサート・プレゼント企画）（岐阜県・可児市）（1回）

1回・計1か所延べ2名が参加。

「地域住民と新日本フィル楽団員や文学座劇団員との交流」に主眼を置く企画です。

可見市は弊団の他に文学座とも地域拠点契約を結んでおり、演奏を聴くだけでなく、公募という形をとることで企画提出をする方々との交流の時間を重要視しています。

ヴォイスの会^(※)は聴覚障害者に、市の広報紙等を、音読し録音したものを送る等のボランティアをしている団体。音に対して鋭敏な感覚をお持ちの方々に利用者ご自身で楽器を演奏していただくなどとても興味深い交流を重ねることができました。

<訪問実績>

・ 6月27日	音訳・ヴォイスの会 ^(※) (会場：広見公民館)	オーボエ、ピアノ	2名
---------	-------------------------------------	----------	----

○「ランチタイムコンサート」

(長崎県・佐世保市) (2回)

延べ2名が参加し、アルカスSASEBOジュニア管弦楽と一緒に指導している地元講師陣とのアンサンブル演奏会を行い、新日本フィル⇄地元講師、地元講師⇄地元観客、新日本フィル⇄地元観客という図式の下、大きな輪のなかで交流を深めました。

<訪問実績>

・ 4月15日	アルカスSASEBO 中ホール	弦楽四重奏	
・ 2月10日	アルカスSASEBO 中ホール	木管五重奏	

○「ファミリーコンサート」(長崎県・佐世保市)

延べ2名が参加、アルカスSASEBOジュニア管弦楽と一緒に指導している地元講師陣との特に小学生を対象にしたアンサンブル演奏会を実施。地元小学生との交流を深めました。

<訪問実績>

・ 4月15日	春日幼稚園：対象/園児+職員	ピアノ四重奏	
・ 2月10日	早岐中学校：対象/全校児童、地域住民	金管三重奏	

③ 青少年に対する音楽の普及

○墨田区・オーケストラ鑑賞教室 計4回

墨田区内の区立の小中学生を対象にすみだトリフォニーホールでフルオーケストラの演奏を楽しんでいただきました。

・ 12月10日 (火)	2回 (小学生)
・ 1月15日 (金)	2回 (中学生)

○音楽授業への参加 計37回

墨田区内の小中学校26校、中学校11校の音楽の授業に楽員延べ100人を派遣しました。

<訪問実績>

・ 6月14日	緑小学校	トランペット、ピアノ	2名
・ 6月17日	錦糸小学校	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3名
・ 6月24日	吾嬬第一中学校	弦楽四重奏	4名
・ 6月27日	横川小学校	クラリネット、ピアノ	2名
・ 7月17日	二葉小学校	トランペット、ピアノ	3名
・ 7月17日	墨田中学校	クラリネット、ファゴット、トランペット、トロンボーン、ヴァイオリン、コントラバス、打楽器、ナレーション	8名
・ 9月17日	第一寺島小学校	オーボエ、ピアノ	2名
・ 10月8日	錦糸中学校	弦楽四重奏	4名

・ 10月17日	業平小学校	フルート、ピアノ	2名
・ 10月18日	梅若小学校	オーボエ、クラリネット、ファゴット	3名
・ 10月29日	外手小学校	コントラバス、ピアノ	2名
・ 10月29日	中川小学校	チューバ、ピアノ	2名
・ 11月5日	中和小学校	トランペット、ピアノ	3名
・ 11月25日	小梅小学校	打楽器	2名
・ 11月28日	柳島小学校	フルート、ピアノ	2名
・ 11月29日	立花吾嬬の森小学校	コントラバス、チェロ	2名
・ 12月2日	第二寺島小学校	トランペット、ピアノ	3名
・ 12月11日	八広小学校	トランペット、ヴァイオリン、ピアノ	3名
・ 12月12日	隅田小学校	オーボエ、ピアノ	2名
・ 12月17日	両国小学校	クラリネット、ピアノ	2名
・ 12月18日	東吾嬬小学校	ヴァイオリン、打楽器	3名
・ 12月19日	第三寺島小学校	フルート、ピアノ	2名
・ 12月20日	吾嬬第二中学校	フルート、ギター	2名
・ 1月17日	押上小学校	ヴァイオリン、コントラバス、ピアノ	3名
・ 1月23日	文花中学校 (夜間学級)	打楽器	3名
・ 1月24日	第四吾嬬小学校	トランペット、ピアノ	2名
・ 1月27日	言問小学校	ファゴット、ピアノ	2名
・ 1月28日	寺島小学校	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・ 1月29日	曳舟小学校	クラリネット、ピアノ	2名
・ 2月17日	菊川小学校	弦楽四重奏	4名
・ 2月19日	第三吾嬬小学校	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・ 2月28日	両国中学校	弦楽四重奏	4名
・ 3月4日	立花中学校	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・ 3月5日	桜堤中学校	ヴァイオリン、ピアノ	2名
・ 3月7日	堅川中学校	トランペット、ピアノ	3名
・ 3月14日	本所中学校	オーボエ、クラリネット、ファゴット	3名
・ 3月24日	文花中学校	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3名



○墨田区成人の日の集いへの参加 計1回

トリフォニーホールにて行われる成人の日の集いの中で、新日本フィルのメンバーによる演奏を聴いていただきました。小中学校の時に音楽授業に参加してくれた新成人の実行委員会のメンバーが提案する曲も演奏し、改めて区内での音楽活動の重要性を感じております。

○演奏指導 (「演奏クリニック」) 計140回

東京都墨田区、三重県、岐阜県可見市、長崎県佐世保市で数多くの演奏指導を実施しました。

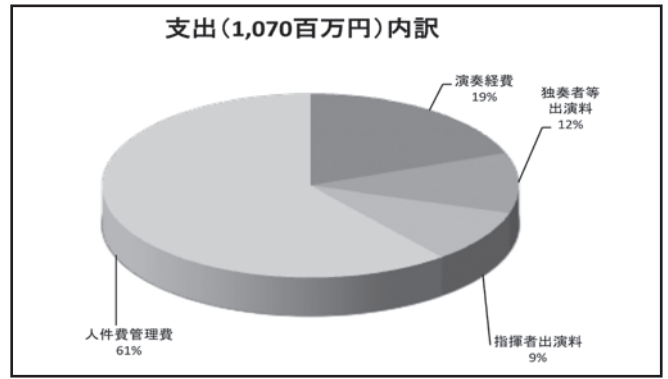
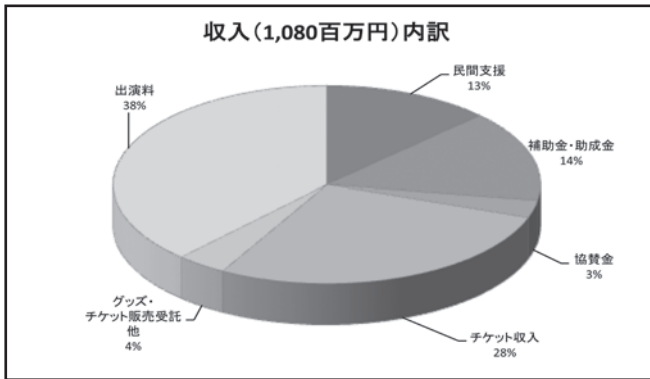
- ・ 東京都墨田区の「トリフォニーホール・ジュニアオーケストラ」の演奏指導 (77回、延べ244名が参加)
- ・ 三重県在住・在勤の音楽に興味のある方を対象とした楽器指導 (12回、延べ46名参加)
- ・ 「三重ジュニア管弦楽団」の指導 (35回、延べ78人が参加)
- ・ 三重県の「ミエ・ユース・ウィンド・オーケストラ」の指導 (9回、延べ21人が参加)
- ・ 岐阜県・可見市内で活動する中学吹奏楽部を中心に楽器指導 (1回、延べ3名参加)
- ・ 「アルカスSASEBOジュニア管弦楽」の指導 (6回、延べ32名参加)

3. 運営状況

3-1 25年度決算について

上記でご報告いたしましたように多くの演奏活動を企画実施し、また出演いたしました。そうした活動の実績を財団の決算という面からご報告いたします。

平成25年 経常収入・支出構成内訳 (グラフ1)



新日本フィルの収支の構造、構成比を示したのが上記「グラフ(1)」です。

収入はご覧の通り、「出演料」「チケット収入」「グッズ・チケット販売受託他」「協賛金」「民間支援」「補助金・助成金」に分かれ、支出は「演奏経費」「独奏者等出演料」「指揮者出演料」「人件費・管理費」に分かれます。

この収支の内訳項目の構成比につきましては例年と大きな変化はありません。ここ数年は10億円前後の予算のもと楽団活動を続けていますが、コンサートを企画実施するための経

費(指揮者出演料、独奏者等出演料、演奏経費)で全体の4割、残りの6割が楽団員(含む事務局員)の人件費と楽団を維持するために発生する管理費になります。

一方、その費用を賄う収入ですが、「出演料」「チケット収入」「グッズ・チケット販売受託他」「協賛金」が営業的活動から得る収入、残りが公的、民間からの寄付金になります。収入の7割が営業面の収入、残りの3割が支援金という構成になっており、営業収入に加えて民間寄付金、公的助成金をいただくことで費用を賄い活動を続けています。

■ 正味財産増減計算書の要旨 (表2)

平成26年3月31日現在

(単位:千円)

科目	24年度	25年度	前期比増減	科目	24年度	25年度	前期比増減
基本財産運用益	25	25	0	経常収益合計	1,153,489	1,080,489	-73,000
受取会費・寄附金等	301,192	301,192	0	事業費	1,110,435	1,045,820	-64,615
(うち民間支援)	141,865	137,343	-4,522	管理費	18,561	24,408	5,847
(うち補助金・助成金)	159,327	160,635	1,308	経常費用合計	1,128,996	1,070,229	-58,767
事業収益	849,779	779,881	-69,898	当期経常増減額	24,493	10,260	-14,233
(うちチケット収入)	283,333	299,119	15,786	経常外増減	1,803	-1,930	-3,733
(うちコンサートへの協賛金)	65,210	30,657	-34,553	一般正味財産増減	26,296	8,330	-17,966
(うち出演料)	459,175	411,355	-47,820	一般正味財産期末残高	61,053	69,384	8,331
(うちチケットセンター業務)	31,333	33,666	2,333	当期指定正味財産増減額	1,132	2,319	1,187
(うちグッズ販売収益)	5,645	3,482	-2,163	当期指定正味財産期末残高	1,132	3,451	2,319
(うち著作物収益)	3,099	1,602	-1,497	正味財産期末残高	62,186	72,835	10,649
雑収益	2,495	1,287	-1,208				

財務諸表の数字で見ますと、最終的な収支結果(正味財産増減)は約8百万円の黒字となり、(表2)の中の「正味財産合計」が73百万円にまで回復してきました。元々の基本財産が100百万円ですので、そこにはまだ30百万円弱不足しておりますが、数年前の債務超過転落の危機という状況からは脱することができております。

ただ、24年度は40周年記念事業として、墨田区文化振興財団から40周年記念事業として仕事をいただく他、中国公演の実施に際しての協賛金など収入が例年より増える要素があり

ましたが、昨年度は収入を特別に押し上げる事業はありませんでしたので24年度との比較では収益は落ちています。それでも最終利益(経常外増減△2百万円減算後)で8百万円ほど残せましたのは、コンサートを企画制作する際のコスト管理を徹底するなどし、経常費用で60百万円近く削減できたことが寄与しています。具体的には指揮者・出演者の予算について事業計画を立てる段階からコスト意識を持つようにしてきたこと、また広告宣伝費や諸々も経費についても予算化し稟議制度を導入するなどの効果が出てきたものと

考えております。

また事業収入については、アルミンク氏の最終公演、第九の特別演奏会などチケットが完売する公演もあり、チケット収入は24年度のような記念事業がない中でも増加することができ、収益事業として始めましたチケットの受託販売事業も軌道に乗り、公益事業での収入を補うものになってきています。

また、過去3年間の収支の推移（グラフ2）を見ますと、予算が厳しくなっている中、収支を均衡させるため全体の費用を厳しく見直してきた結果、事業規模は漸減してまいります。プロオーケストラとして、また自主運営を掲げる新日本フィルにとりまして、高い演奏水準を維持、発展させながらどう楽団を安定的に継続していくか、常に考えていかなければいけない課題です。

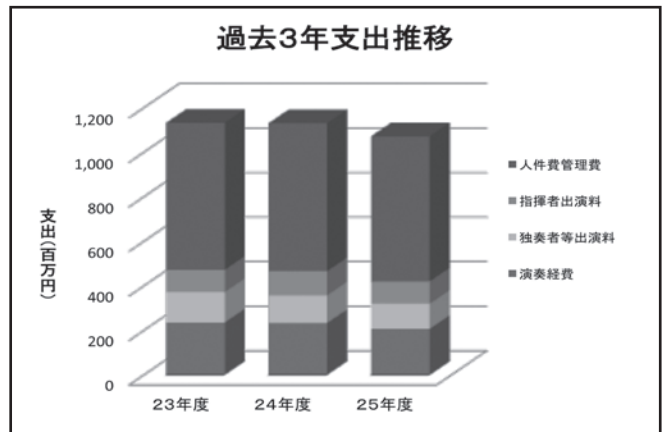
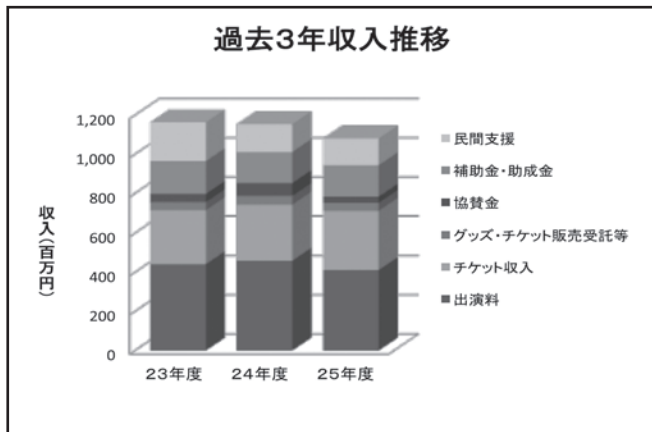
■貸借対照表の要旨

平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	25年3月期	26年3月期	前期比増減	科 目	25年3月期	26年3月期	前期比増減
<資産の部>				<負債の部>			
流動資産	248,975	247,712	-1,263	流動負債	240,155	243,268	3,113
（うち現預金）	102,121	88,715	-13,406	固定負債	100,624	95,767	-4,857
固定資産	153,991	164,158	10,167	（うち退職給付引当金）	100,624	95,767	-4,857
（うち基本財産）	100,000	100,000	0	負債合計	340,780	339,035	-1,745
（うち特定資産）	38,144	39,257	1,113	<正味財産の部>			
（うちその他資産）	15,847	24,901	9,054	指定正味財産	1,132	3,451	2,319
				一般正味財産	61,053	69,384	8,331
				正味財産合計	62,186	72,835	10,649
資産合計	402,966	411,870	8,904	負債・正味財産合計	402,966	411,870	8,904

平成23～25年度 過去3年年収推移（グラフ2）



3-2 チケット販売実績・公演来場者について

いつも新日本フィルのコンサートにご来場いただきありがとうございます。

25年度の自主公演につきましては、決算のご説明の際述べましたように、アルミンク指揮のトリフォニー定期（第513回）、ジャン＝クリストフ・スピノジ指揮のサントリー定期（第520回）、年末の第九特別公演が完売する公演もありチケットの販売は自主演奏会回数と同じでありました前年度を上回りました。ただ、トリフォニー定期の第1夜、新・クラシックの扉の土曜日公演などは集客が苦戦しており、多くの方

にご来場いただくためにまだまだ努力・工夫が必要と考えています。

委託演奏会については、24年度は久しぶりに出演回数が80回を超えましたが、25年度は69公演となり前年度を下回りました。地方自治体の予算が厳しくなり、公共施設、公共ホールからの委託公演が減少傾向ではあります。一方で、さだまさしさんとの共演などで、今までオーケストラとあまりなじみのなかった方にも聴いていただくきっかけとなるコンサートにも多く出演してまいりました。今後も様々な企画で多くの方に聴いていただけるようにしてまいります。

過去3年 コンサート入場者実績（表3）

	平成24年3月期		平成25年3月期		平成26年3月期	
	公演回数	来場者数	公演回数	来場者数	公演回数	来場者数
定期演奏会（トリフォニー）	16	22,560	14	18,708	18	23,487
定期演奏会（サントリー）	8	13,027	7	11,435	8	13,107
新・クラシックへの扉	14	19,733	18	25,579	16	24,068
室内楽シリーズ	9	2,073	6	1,252	8	1,826
その他特別演奏会	12	16,723	16	22,475	9	14,390
多摩 定期演奏会	※1	※1	※1	※1	2	1,208
自主演奏会計	59	74,116	61	79,449	61	78,086
委託演奏会計（※2）	（※1）70	90,081	81	114,460	（※3）69	99,242
総計	129	164,197	142	193,909	130	177,328

（※1）25年度まで多摩定期は全て委託演奏会として集計

（※2）入場者数は主催者情報による。

（※3）うち2公演は多摩定期の委託公演分

3-3 寄附金動向

新日本フィルの活動を支えている大きな部分に国、自治体から公的助成、民間団体からの助成、そして企業、個人の皆様からの寄附金がございます。理想は出演料収入、チケット販売収入など楽団の活動による収入でその活動経費すべてを賄うことですが、それだけでは不足してしまい、助成金、寄附金をいただきながら活動を続けているのが現実でございます。決算の説明のところで述べました通り、例年協賛金を含めると、年間収入のうち3割程度が公的、民間からの補助金・助成金、寄附金となっておりますが、25年度もその構成比に変化はありません。年間総収入約10億円のうち、国、自治体、民間団体から1億6,000万円を補助金・助成金として、

民間企業、個人の皆様からは1億3,700万円を賛助会費などの寄附金として支援いただきました。また経理処理上、寄附金ではございませんが、特定の公演に協賛金として3,000万円をいただいております。

下の（表4）は賛助会などにご寄附をいただいている法人、個人の皆様の数の推移を示しています（※1）が、震災前後の経済状況の大きな変化の中、毎年多くの皆様からご寄附をいただいております。これだけの方々にご寄附をいただいていることが楽団にとりましては精神的にも大きな支えとなっております。

新日本フィルの活動にご賛同をいただきご寄附をいただいている皆様に改めまして厚くお礼を申し上げます。

パトロネージュ会員動向（※）（表4）

パトロネージュ内訳	平成24年3月末時点		平成25年3月末時点		平成26年3月末時点		増減	
特別支援企業	9社1団体		7社1団体		7社1団体		0	
賛助会員								
（法人）	86社		87社		87社		0	
（個人）	249名		250名		232名		▲18	
維持会員	499名		462名		465名		+3	
すみだの会								
（法人）	60社		56社		53社		▲3	
（個人）	234名		235名		220名		▲15	
合計	146社	982名	143社	947名	142社	917名	▲3社	▲30名

（※） 会員の数につきましては、ご寄附をいただく時期のずれで、同一年度内に未入金の方を含みます。

また、複数の会に入っている方もおり、上記の数字は延べ数です。

今後のパトロネージュの活動についてですが、多くの団体が寄附金を必要として活動し、ファンレイジングという言葉もよく耳にするようになりました。寄附の仕方、集め方もネットの時代を反映し、SNSなどを利用した寄附も話題になっています。また寄附金控除に税額控除制度が認められる他、

遺贈による寄附を検討されるなど寄附の仕方も多様化してきています。そうした中でチケットをご購入いただくという営業収入の確保と独立した寄附金活動として、楽団の活動をきちんとご説明するという基本のもと、新日本フィルの活動に賛同して寄附をしていただける方を一人でも多くご参加いた

だくためにこれからも努力して参ります。

また従来の賛助会、維持会を通じてのオーケストラ活動へ

の支援のみならず、ご寄附していただきやすい、様々な形も検討してまいります。

4. 今年度（平成26年度）について

今年度の事業につきましては、自主公演、特別演奏会、教育プログラム、依頼公演という大きな柱は変わりません。自主公演につきましては、インゴ・メッツマッハー、ダニエル・ハーディングが中心になり、ベートーヴェン、ブラームス、マーラーなどを取り上げる他、新日本フィルの名手がソリストとして登場するなどバラエティに富んだ内容となっております。

自主公演のもう一つのシリーズであります「新・クラシックへの扉」では、クラシック音楽の普及という目的をより鮮明に打ち出したプログラムとなっており、未来を担うソリストとの共演も多くございます。多くの方にクラシック音楽を楽しんでいただき、皆様の毎日の生活の楽しみの一つにクラシック音楽が加わることを願ってその世界に誘います。他にもプログラムの背景などを説明する「レクチャー」も実施す

るなど、より皆様が「コンサートに行きたくなる」工夫に取り組めます。

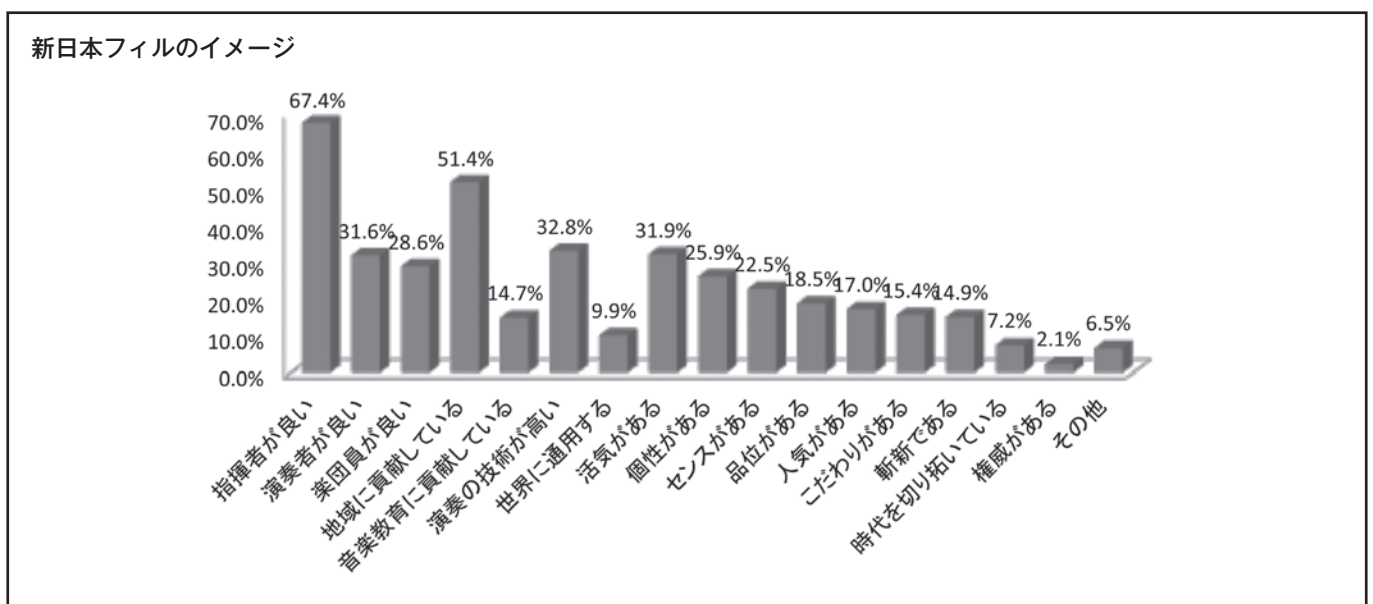
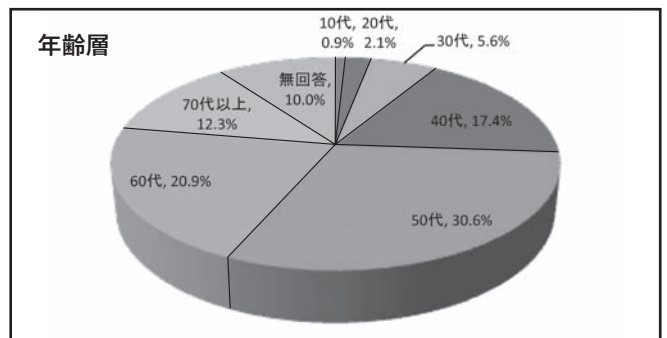
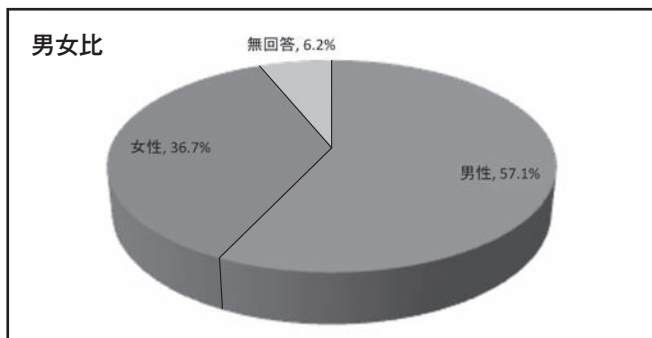
特別公演では、5月に楽団桂冠名誉指揮者小澤征爾氏が登場、そして自主公演ではありませんが特別支援企業でありますオリックスより資金的等支援を得て韓国への演奏旅行を行います（本報告書発行時点では無事に終了しております）。また自主公演のチケット販売につきましては5月から新システムに移行し新日本フィルのホームページの画面では、座席表を見ながら席をお選びいただけるようになるなどサービスの向上に努めてまいります。

コンサートにより多くの皆様にご来場いただき、皆様の日常生活に寄り添う形でまた一層楽しんでいただけますよう、クラシック音楽の楽しみ方をご提案していきたいと思っております。引き続き、新日本フィルをよろしくお願いたします。

5. ご来場者アンケート結果一覧

2014年6月定期演奏会会場において、アンケートを実施いたしました。

ご来場者の男女比、年齢層、新日本フィルのイメージの結果一覧になります。



特別支援企業・特別支援団体・賛助会員・維持会員ご芳名 新日本フィルを支えるすみだの会 法人・個人会員ご芳名

(2014年3月現在)

特別支援企業

オリックス **in**鹿島 大和証券 **ドンキホーテ**
NOMURA フジサンケイグループ **LAWSON**

特別支援団体

公益財団法人 **オリックス財団**

賛助会 法人会員

アイエヌジーバンク エヌ・ヴィ 東京支店
 (株)AOKI ホールディングス
 (株)朝日新聞社
 有限責任 あずさ監査法人
 (株)アリストグラ・アドバイザーズ
 (株)イー・ステート・オンライン
 ウシオ電機(株)
 エームサービス(株)
 SMBC日興証券(株)
 SMK(株)
 (株)OSK
 大崎電気工業(株)
 (株)奥野設計
 オリックス(株)
 オリックス不動産(株)
 鹿島建設(株)
 (株)カナエ
 キッコーマン(株)
 (株)求龍堂
 KPMG 税理士法人
 (株)KPMG FAS
 (株)Kプロビジョン
 三協フロンテア(株)
 サントリーホールディングス(株)
 (株)資生堂
 新菱冷熱工業(株)
 スターツコーポレーション(株)
 住商セメント(株)
 住友ゴム工業(株)
 (株)世界貿易センタービルディング

セントラル硝子(株)
 ソニー(株)
 第一三共(株)
 (株)大京
 ダイキン工業(株)
 大興物産(株)
 (株)大和証券グループ本社
 中外製薬(株)
 THK(株)
 TTグローバル・アセットマネジメント(株)
 (医社) 天宣会
 (株)電通
 (株)東京印書館
 東京ガス(株)
 東京商工会議所
 トヨタ自動車(株)
 虎門中央法律事務所
 トランスコスモス(株)
 (株)ドン・キホーテ
 長野計器(株)
 日油(株)
 日東不動産(株)
 (株)ニッポン放送
 (株)ニトリホールディングス
 日本スタッドウエルディング(株)
 日本電気(株)
 日本ユニシス(株)
 野田喜産業(株)
 野村ホールディングス(株)
 (株)ハナエモリ・オートクチュール

林法律事務所
 阪和興業(株)
 パラマウントベッドホールディングス(株)
 (株)日立物流
 (株)ファミリーネット・ジャパン
 (株)ファンケル
 (株)フォンテック
 (株)フジクラ
 富士ゼロックス(株)
 (株)フジテレビジョン
 (株)不動テトラ
 (株)ブルーノートジャパンInc.
 (株)プロマックス
 (株)文芸社
 (株)ベネフィット・ワン
 (株)ポニーキャニオン
 (株)みずほ銀行
 (株)三井住友銀行
 三井不動産(株)
 三菱商事(株)
 (株)三菱東京UFJ銀行
 (株)宮本組
 森ビル(株)
 郵船ロジスティクス(株)
 UBS証券(株)
 ユニオンツール(株)
 ルートインジャパン(株)
 ローム(株)
 他1社

賛助会 個人会員

新宿区 東 祥弘様
 渋谷区 池田輝三郎様
 茅ヶ崎市 今田 喜久様
 文京区 加藤 珠枝様
 藤沢市 兼坂 光則様
 世田谷区 世田 保彦様
 市川市 佐藤 元治様

世田谷区 世田 弘様
 中央区 大谷 裕康様
 足立区 大谷 弥生様
 渋谷区 大野まゆみ様
 横浜市 岡崎 卓見様
 下野市 尾梶 久子様
 足立区 岡田 元様
 桂木 明夫様
 勝部 泰次様
 加福 光一様
 唐木 昭様
 カリダ・ルンプレラス様
 川井 明様
 川瀬 健介様
 川瀬ケサミ様
 河津 緑様
 川本 敬三様
 川本 仁美様
 北村 昭治様
 國部千代美様

野田市 野田 慶子様
 横浜市 増田 幸央様
 文京区 松本 謙一様
 大田区 森 正勝様
 豊島区 横山いつみ様
 他2名様

あ 稲嶺 清孝様
 赤坂 芳子様
 安生 慶様
 飯野 一子様
 池田 憲二様
 石井 仁志様
 石井 芳子様
 石川 栄子様
 石黒 隆様
 石田 久人様
 石塚 勝己様
 伊藤 信彦様
 稲田 隆治様
 井上 賢二様
 今西 至様
 岩野 裕一様
 岩船 展子様
 上野 誠治様
 宇津木奈保美様
 浦田 悦夫様
 江黒 俊弘様
 江畑 隆夫様
 遠藤 怜子様
 大家 久様
 大澤嘉代子様

太田 弘様
 太田 裕康様
 大谷 弥生様
 大野まゆみ様
 岡崎 卓見様
 尾梶 久子様
 岡田 元様
 小野 隆彦様
 小野美智子様
 か 海部 孝治様
 貝本 清美様
 嘉義 悦子様
 桂木 明夫様
 勝部 泰次様
 加福 光一様
 唐木 昭様
 カリダ・ルンプレラス様
 川井 明様
 川瀬 健介様
 川瀬ケサミ様
 河津 緑様
 川本 敬三様
 川本 仁美様
 北村 昭治様
 國部千代美様

久保田美禰子様
 倉沢 衛一様
 黒川 瑛様
 小池 一夫様
 小池 幸子様
 小林 政雄様
 小林 幹夫様
 小松 久男様
 小室 秀夫様
 今野 達則様
 さ 堺 克利様
 坂倉千恵子様

坂田 光徳様
 佐京 彩子様
 佐藤 宏司様
 佐藤 真一様
 佐藤 妙子様
 佐藤 堯様
 佐藤 晋郎様
 佐藤 基孝様
 柴田 乙雄様
 清水 陸子様
 白崎 邦雄様
 白瀬 好子様
 神宮司美枝様

新谷 始子様
 新橋 一三様
 鈴木 吉郎様
 鈴木 佐和子様
 鈴木 隆様
 鈴木 直子様
 鈴木 泰子様
 鈴木 泰浩様
 瀬川 和子様
 関根 一禄様
 千 康浩様
 善場 弘子様
 園田 幸男様

染谷 香様	田中 喜雄様	中岡 知之様	野村 勝美様	福田 富雄様	宮本 憲史様	揚 志成様
高澤美貴子様	田生 宏祐様	長島 賢二様	は 萩原佐與子様	福田日出彦様	宮本 高子様	横川 寛様
高田 実様	田村久美子様	仲田 松子様	支倉二二男様	藤田 純様	宮本 忠治様	吉川真理子様
武井 巖様	丹内 寛様	永田 勝行様	塙 章次様	堀 哲也様	宮本 信正様	米山 進様
竹内 光子様	土屋 努様	永田 浩治様	堀田 文雄様	堀之内建二様	村上 一平様	米山與志子様
竹田 輝男様	鶴田 朝子様	永田真由美様	浜田 啓様	ま	村上 瑛子様	わ
竹田 幸子様	寺尾 勝汎様	永田ゆりの様	半田 庄司様	前田 美奈様	村上 陸様	渡辺 栄子様
竹田 興様	照木 健様	中西 充様	日高理恵子様	馬瀬 清孝様	森山 薫様	渡辺三規子様
竹田津文俊様	土肥 昇様	永野 明宏様	平井 康董様	松岡 伸様	山下 善四郎様	和地 孝様
龍野 廣道様	東谷 昭三様	中村 幸雄様	平野 篤司様	松田 正樹様	湯村 蔚子様	他43名様
立石 恵子様	徳山美沙子様	西田 明生様	平本 孝雄様	松田 凉子様		
田中 龍彦様	富永 誠一様	根本 直之様	深澤 靖久様	皆野川セシリヤ様		
田中 英隆様	な	野上 哲夫様	福島 彬裕様	宮川 禮子様		
	永石 嘉子様	野田 直広様	福田 昭夫様			

■維持会員

あ	太田 詔様	木下 紀子様	佐藤 弘毅様	立花香代子様	長谷川京介様	松本 隆志様
青山 孝徳様	太田 健司様	木下 典夫様	潮上 征子様	田中恵美子様	長谷川光明様	松本万里子様
赤坂 有紀様	太田 純子様	木村 真弓様	志岐 宏様	田中 玉枝様	花輪 芳和様	丸茂 健様
秋山 瑞枝様	太田 麻由様	木元 淳子様	穴戸昭三様	田中 美幸様	浜野 光子様	三浦百合子様
秋子島淑江様	太田 萬蔵様	桐田 裕美様	穴戸万里子様	田辺エミ子様	浜野 千鶴様	水口 和幸様
浅川 晃子様	大塚 達美様	桐田 光修様	實相寺知佐子様	田辺 誠治様	羽村 雅俊様	美村 保子様
浅川 博様	大坪 元至様	日下 佳子様	篠原 辰夫様	谷道 幸雄様	林 純哉様	三宅加代子様
足立 純枝様	大友りう子様	久民由紀子様	柴田 文雄様	田沼 勇二様	原 明様	都田 慶裕様
安達 澄代様	小笠原史豊様	久能 晃様	島崎 義勝様	玉井 慶子様	原 英記様	宮崎 美枝様
荒川 健秀様	岡田 哲様	久芳征一郎様	島田 富子様	千々岩浩子様	原 洋子様	宮崎 美子様
アロエベラ	岡野 泰男様	久保田 誠様	清水 詮代様	千葉 和貴様	原 雅道様	村井 忠志様
ふれんず様	岡橋 修様	クリスティアン・	清水 秀昭様	中鉢 昌子様	原田 俊明様	村上 正様
アロエベラ	岡橋 真琴様	アルミンクの会	志村 光恵様	常見 恭子様	半田三枝子様	村田 亨様
ユニバース様	小川 一成様	黒田 信五様	城田新一郎様	角田美智子様	東尾 愛子様	村松 博様
安生 智様	奥田喜代子様	黒田 汪子様	晋友会合唱団様	釣巻 耕秀様	東尾 吉信様	本橋千恵子様
安藤 信子様	奥田 徹郎様	小池 篤子様	菅原 彰様	寺崎 誠作様	樋口 實様	百瀬 毅様
飯塚たまき様	小倉 和様	小池 將雄様	杉林 裕夫様	東京アカデミッシュ	土方 隆様	守 孝康様
五十嵐 恵様	長 信也様	河野久仁子様	鈴木 克己様	カベレ様	日紫喜一史様	森 トキ子様
五十嵐鉄朗様	尾崎 輝郎様	古賀 慎治様	鈴木 孝治様	遠山 柚一様	日向 央様	森 玲子様
猪狩 光弘様	小澤 登久様	小久保晴行様	鈴木佐和子様	徳永 和子様	平井 基雄様	森川 栄様
生田 芳朗様	小沼 徹様	古今亭志ん輔様	鈴木 雅夫様	戸出 正夫様	平沢 礼子様	森川 智子様
池田 直宏様	小沼 礼子様	小柴 禧悦様	鈴木真寿子様	友田 寿子様	廣川 一郎様	森田 和久様
石井 宏幸様	小野 敏夫様	小島 正子様	鈴木 美和様	な	広瀬由紀子様	守屋 和子様
石井 洋子様	か	後藤 陽子様	須藤 隆弘様	内藤 昭様	深草耕太郎様	守屋 浄秀様
石川 明子様	柿本 伸之様	小西 純子様	砂畑 光江様	内藤 峰子様	布川 隆志様	師岡 一司様
石川 郁子様	柿本 正仁様	小林 京子様	成城合唱団様	長井 裕史様	福崎至佐子様	や
石川 正志様	影井 良貴様	小林 憲史様	瀬川 和子様	永井 秀文様	福澤 寿子様	矢板 玲子様
石戸谷和久様	笠原 孝夫様	小林 洋様	関 守様	中尾 恭子様	福田美知子様	安田まゆみ様
石戸谷行子様	片岡 容子様	小林 幸子様	関 れい子様	長澤 絢子様	藤井 和子様	安田百合子様
石野多加子様	片 薫様	小船 善弘様	関口 典子様	中澤 春江様	藤岡 正枝様	柳下 等様
石橋 昭彦様	片山 董様	小山 永子様	関端 政明様	中嶋喜代子様	藤久保美智代様	柳田 迪子様
石原 文子様	勝又 禮子様	小山 希一様	瀬古 康子様	中嶋 欣三様	藤森 貞雄様	山口 博様
磯貝 恵三様	勝村 務様	小山 実様	瀬下 敬子様	中田 芳郎様	船橋 有様	山口 浩之様
磯野喜美恵様	金窪 悠様	近藤 和枝様	善場 弘子様	中野 喬様	古澤 恵子様	山口 隆好様
市原 典子様	金山 茂人様	近藤 洋子様	相馬 晶夫様	中野 浩様	細井めぐみ様	山崎 博一様
伊藤 伸様	金子くに子様	金野 民雄様	添田 淑子様	永原 令子様	細尾 直子様	山田 徹男様
伊藤 信夫様	金子 忠正様	さ	祖開 健様	永松 智美様	細谷 エイ様	山田 文子様
伊東 靖子様	金子 尚志様	斎藤恵美子様	園田 洋様	永宮 毅久様	法橋 建様	山津 一之様
稲川 由佳様	亀田 葉子様	斎藤 俊二様	た	中村 京子様	穂満 孝子様	山中 厚子様
井上 雅之様	河合 玲子様	斎藤 博様	高井 真樹様	中村美代子様	堀 博司様	山根 康彦様
井下 章様	河内 真人様	斎藤由利子様	高田 晴子様	中山 朋子様	堀内美奈子様	山本 明子様
岩山 頌子様	川上 成直様	五月女進一様	高橋 桂子様	名越 恵子様	本宿 克様	山本千鶴子様
印南 慶俊様	川口 洋様	酒井 知彦様	高橋 幸子様	浪川 聡子様	ま	山本 智雄様
印南 陽子様	川口 泰宏様	酒井 紀子様	高橋 行雄様	浪川 優様	前小屋弥子様	山本 洋様
植木 桂子様	川崎 弘子様	酒井 典子様	高橋 裕様	浪川 俊彦様	前田 一郎様	山本 康子様
植田 健夫様	河津つ子様	酒井由佳子様	高橋リエ子様	成田 康子様	前田日出子様	結城久美子様
内海 充康様	河村 臣生様	榊原 祥子様	高森きよ子様	西沢 智康様	前田友見子様	弓削 節子様
海野 泰代様	河村 寛子様	阪田 信子様	瀧上 智恵様	西嶋美千代様	牧本恵美子様	横田喜久恵様
穎川 徳武様	神田 泉様	坂本 勇様	瀧川 迪子様	西田 克彦様	真島 香織様	横山 雅弘様
海老原典子様	神田 進様	崎谷 綾子様	滝沢 悦子様	西田 泰様	松井 茂様	横山 宏子様
恵美三紀子様	木内 一美様	佐々木 勇様	武井 勉様	西本 徳子様	松波 恵子様	吉田 菊子様
遠藤 憲孝様	木坂 従子様	佐々木恭子様	竹内 昭様	仁戸部弓彦様	松原 淑子様	吉野あや子様
遠藤 佳子様	北沢 由美様	佐々木恵子様	竹内 渥躬様	根本 康利様	松丸 彰男様	吉野 邦夫様
遠藤 利恵様	北角 嘉徳様	佐々木将人様	竹内 博之様	信田 幸子様	松宮 道子様	わ
小江 恵子様	北角 智美様	佐々木鞠子様	竹下 幸枝様	野村あい子様	松本 和夫様	若狭 慧様
大島 恵子様	北村 尚子様	佐々木義浩様	武中 香様	は	松本 和子様	若狭 正子様
大慈彌豊子様	木下潤一郎様	佐治 薫子様	竹中 スミ子様	袴塚 敦様	松本 敬子様	和田 英恵様

和田 倫子様
渡邊あい子様
渡辺 信宏様
渡辺 雅晴様
渡辺 和様
他47名様

■新日本フィルを支えるすみだの会 法人会員

(株)阿久津電機
アサヒグループホールディングス(株)
(株)アスク
(株)アルカタワーズ
(株)ヴォートル
AIU損害保険(株)
大坪電気(株)
岡部バルブ工業(株)
花王(株)すみだ事業場
(株)糟谷
キップス(株)
錦糸町熱供給(株)
鯨岡産業(株)
久米繊維工業(株)
京成電鉄(株)
国宝商事(株)
三恵産業(株)
(株)三高
サンワプリント(株)
(株)CIC

(株)シグマコミュニケーションズ
(株)施設管理サービス
(株)ジェイコム東京すみだ・台東局
(株)昭電
(株)杉田製線
ステップサイエンス(株)
スミダ飲料(株)
一般社団法人墨田区観光協会
関根床用鋼板(株)
(株)セラフ
大東印刷工業(株)
田中燃料(株)
玉の肌石鹼(株)
中央(株)
(株)中央商会
東京コカ・コーラボトリング(株)
東京東信用金庫
(株)東京舞台照明ホールディングス
(株)東京楽天地
東武鉄道(株)

(株)仲むら
(株)日建設計
(株)日本イトミック
日本プライムリアルティ投資法人
野村鋼機(株)
(株)船橋屋
丸源飲料工業(株)
(株)ムラヤマ
(株)モルフォ
YKK AP(株)
(有)良味オフィス
ライオン(株)
(株)ロッセ ロッセシティホテル錦糸町

■新日本フィルを支えるすみだの会 個人会員

あ	大瀧 愛子様 大瀧 信一様 大林 完二様 大室 輝雄様 岡野 嘉久様 沖田 茂様 小倉 孝弘様 長田 行雄様 忍足 晴夫様 織田雄二郎様 小野 拓様 か 笠原 正美様 鹿島田和宏様 加治原 郁様 片桐 徳一様 勝俣 泰様 加藤 ハル様 加藤 祐子様 狩野 秀子様 上條 隆志様 亀田 紀子様 唐松 順子様 河合 克美様 河合 裕美様 岸川 紀子様 岸本 佳巳様 北村 芳子様 木所 律子様 木村 敏子様 串原 昭夫様 口中 常嘉様 國枝 純一様 久保 孝之様 久保木 章様	熊谷美智子様 熊谷 安弘様 栗田 陽様 栗林 行雄様 桑原きよ子様 郡司 剛英様 小池 信子様 小坂橋一之様 河野 弘子様 光明 幸子様 小久保 明様 小暮 真人様 小島 啓三様 小菅 康司様 小林 清様 小林 睦様 小室 秀夫様 小柳 堅一様 さ 齋藤 正路様 齋藤 雄吉様 齋藤 好正様 堺 恵子様 酒井 敏春様 坂倉 重徳様 坂田 静子様 坂本 康治様 佐久間 之様 櫻田 智様 雑田 利祐様 佐藤 英治様 佐藤 とく様 佐藤 ゆり子様 真田 平次様 鮫島 栄子様	穴倉 義人様 篠崎 染子様 島崎 進様 清水 寛様 清水 泰博様 東海林幸雄様 白鳥 淳様 末富 裕二様 菅原 幸弘様 鈴木 篤様 鈴木 一郎様 鈴木 えみ子様 鈴木 和昭様 鈴木久美子様 鈴木 節子様 鈴木 真里様 鈴木フサ子様 鈴木 藤子様 鈴木 陽子様 須藤 浩司様 関口 卓也様 関口 皆子様 関口 芳正様 関根 和子様 関根 正己様 関谷美奈子様 た 高根 和子様 高野 祐次様 高橋 真二様 高橋 宏幸様 高橋 政幸様 高橋 義之様 高見 昭二様 高山 二郎様	田倉 優様 武井 勝人様 武田美奈子様 竹本 葆様 田中 進様 田中富士子様 田中 正明様 田中 美江様 田中美也子様 玉居子博子様 千木良明徳様 寺澤美代子様 任田 節様 富岡 邦郎様 朝長 洋様 豊崎 壽幸様 な 仲 久美子様 中渇 信和様 長島 孝様 中谷 賢一様 中橋 猛様 仲村 和子様 中村智世子様 中村 弘様 永盛 省夫様 中山 賢治様 中山 五郎様 中山 誠様 中山 由紀様 南雲 昇様 並木 節子様 西明 帝子様 西島 由美様 西田 透様	野口 富子様 は 萩原 和富様 萩原 美香様 橋爪 昭男様 長谷川庚吉様 浜田 将彰様 早川 栄子様 早崎ふで子様 林 恵子様 原 丈様 久井 隆司様 百花 亭様 深澤 靖久様 深野 紀幸様 福谷 光広様 福山 裕子様 藤井 卓様 藤井 正昭様 藤田 悟様 古澤 明子様 細川 保夫様 細田 圭子様 ま 前田 恵子様 前田 泰伯様 牧野 光江様 増田 淳子様 松井はる江様 松井 英樹様 松本 加代様 三浦 博司様 三浦 良雄様 宮城 進様 宮澤恵美子様	宮澤 順子様 宮本 知幸様 村田 里美様 森 隆夫様 や 安井 貞子様 安井 正様 安田 信子様 柳田サタヨ様 山崎 剛様 山崎 茂樹様 山崎 寛司様 山崎 正之様 横山 信雄様 吉沢弥重子様 吉田 章様 吉田美津子様 わ 和田 聖子様 渡辺 一夫様 渡部 和美様 渡辺 茂男様 渡会 順久様 他14名様
---	--	---	--	--	---	---

■ 助成・ご協賛一覧

<助 成>

 <p>文化庁文化芸術振興費補助金 (トップレベルの舞台芸術創造事業)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第507回～第522回 トリフォニー定期第1夜 ・第507回～第522回 トリフォニー定期第2夜 ・第506回～第521回 サントリーホール定期 ・第29回～第36回 新・クラシックへの扉～金曜午後2時の名曲コンサート～ ・第29回～第36回 新・クラシックへの扉～土曜午後2時の名曲コンサート～ (7月20日公演は除く) ・4月27日 親子コンサート
<p>(公財) アフィニス文化財団  Affinis ETIQUETTE</p> <p>(公財) 三菱UFJ信託芸術文化財団</p> <p>公益財団法人 ロームミュージックファンデーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第514回 トリフォニー定期第1夜 ・第514回 トリフォニー定期第2夜

<特別協賛>

<p>A I U 損害保険(株)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9月29日 コミュニティコンサート
<p>オリックス(株)</p> <p>(公財) オリックス財団</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第517回トリフォニー定期第1夜 ・第517回トリフォニー定期第2夜 ・1月3日ニューイヤーコンサート ・2月11日<オリックスpresents>コンチェルトタンテⅡ ・3月2日 <オリックスpresents>コンチェルトタンテⅡ
<p>スターツグループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7月20日 新・クラシックへの扉～土曜午後2時の名曲コンサート～ <スターツ サマーコンサート> ・12月22日 第九特別演奏会<スターツ ハートフルコンサート>
<p>(株)ドン・キホーテ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・12月31日<ドン・キホーテpresents>年越しコンサート
<p>ユニオンツール(株)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・12月21日 第九特別演奏会

<協 賛>

<p>(株)小学館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7月28日サマーコンサート2013 <シート提供>
<p>(株)アスク、(株)アルカタワーズ、牛嶋神社、 (株)糟谷、亀戸天神社、サンワプリント(株)、 スミダ飲料(株)、田辺宏守様、東武鉄道(株)、 (株)船橋屋、ライオン(株)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・12月31日年越しコンサート <ジルベスターサポーター>

楽団概要・楽団員一覧

創立 1972年
公益財団法人
新日本フィルハーモニー交響楽団

Conductor in Residence
インゴ・メッツマッハー

Music Partner of NJP
ダニエル・ハーディング

桂冠名誉指揮者
小澤 征爾

ミュージック・アドヴァイザー
ゲルハルト・ボッセ

永久指揮者
齋藤 秀雄

フレンド・オブ・セイジ
ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ

新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ

音楽監督
久石 譲

文芸部
吉井 澄雄 (舞台照明家)
新井 鷗子 (音楽作家)

ソロ・コンサートマスター
崔 文洙
ソロ・コンサートマスター
豊嶋 泰嗣
コンサートマスター
西江 辰郎

第1ヴァイオリン
堀内 麻貴○
山田 容子○
一重 弘子
稲垣 桃子
岸田 晶子
澤田 和慶
塩澤 菜美
宗田 勇司
竹中 勇人
田村 直貴
松宮麻希子
山口 幸子
山本のりこ
古日山倫世□

第2ヴァイオリン
吉村 知子★
佐々木絵理子○
戸松 智美○
石田はつみ
宇野沢美緒

小池めぐみ
篠原 英和
砂畑 佳江
田村安紗美
中川富美子
中矢 英規
深谷 まり
山崎 恵子

ヴィオラ
篠崎 友美★
木村 恵子○
岩井香保里
醍醐 紀子
高橋 正人
原 孝明
間瀬 容子
矢浪 礼子
吉鶴 洋一
三島 沙帆□

チェロ
上森 祥平★□
川上 徹★
貝原 正三
多田 麗王
弘田 徹
スティーヴン・フィナティ
森澤 泰
矢野 晶子
山崎 泉

コントラバス
竹田 勉★
渡邊 玲雄★
城 満太郎○
安保 龍也
石田 常文
廣嶋 嘉人
村松 裕子
森園 康一
大槻健太郎□

フルート
荒川 洋★
白尾 彰★
野口 みお
斎藤 光晴□

フルート&ピッコロ
渡辺 泰

オーボエ
古部 賢一★
浅間 信慶
七澤 英貴

オーボエ & イングリッシュホルン
森 明子

クラリネット
重松希巳江★
澤村 康恵☆
植木 章□
鈴木 良昭 (楽友)

Esクラリネット
澤村 康恵

クラリネット & バスクラリネット
鈴木 高通
マルコス・ベレス・ミランダ□

ファゴット
河村 幹子★
坪井 隆明★
石川 晃
佐久間大作

ホルン
井手 詩朗★
吉永 雅人★
金子 典樹
田中 雅樹
藤田麻理絵

トランペット
服部 孝也★
デイヴィッド・ヘルツォーク★
市川 和彦
杉木淳一郎

トロンボーン
箱山 芳樹★
山口 尚人☆
奥村 晃
宮下 宣子

バストロンボーン
門脇賀智志

チューバ
佐藤 和彦★

ティンパニ
川瀬 達也★
近藤 高顕★

パーカッション
小島 光
柴原 誠
山田 徹

★首席
☆副首席
○フォアシュペラー
□契約団員
(留) 留学中

パーサネル・マネージャー 五島 励二
小野 聡美

インスペクター 吉鶴 洋一
浅間 信慶
城 満太郎

ステージ・マネージャー 成瀬 清明
飯野 秀明

ライブラリアン 林 知也
河田 信乃
新井 初美
松田 佳奈

事務局

事務局長 松原千代繁
音楽主幹 松原千代繁 (兼務)
総務部 部長 新藤 猛*
次長 山田 裕平*
経理 井川 雅子
総務 関 顕治
袴田 史恵

事業部

次長 濱田 正和
企画・制作 桐原 美砂
武田 都
川島 美香
広報・宣伝 西 春菜
西岡 詠美

営業部 部長 新藤 猛* (兼務)
チケットボックス 室長代理 栗田 博美

斎藤栄実子
須貝 絃子
柳澤 佳奈
大澤さやか
奥田弥栄子
椎野 篤代
常木 美和
由上 湊子
石井 由美
横里 智代
パトロネージュ 室長 横山 利夫 (兼務)
山本 響子

特別参与

川上 敦 (パトロネージュ担当)
松川 直樹 (経理担当)
水上 千秋
白鳥美代子 (総務担当)

*パトロネージュ室 兼務

(2014年3月現在)

■ 役員・評議員・顧問・団友一覧

理事長 宮内 義彦
副理事長 日枝 久
専務理事 大坪 健雄

理事 荻田 伍 小関 誠 庄子 幹雄 白尾 彰 新浪 剛史 横山 利夫 和地 孝

監事 橋本 正己

評議員 岩野 裕一 氏家 純一 小澤 征爾 小野 敏夫 梶原 健司 久米 信行 鈴木 茂晴 鈴木 道夫
鈴木 良昭 長妻 和男 森川 敏雄 森 正勝 吉井 澄雄

永久桂冠顧問 石川 六郎

名誉顧問 坂田 俊夫

顧問 井上 礼之 岩沙 弘道 牛尾 治朗 佐治 信忠 久石 譲 森 千二 森 英恵 森田 清
山崎 昇

理事長補佐 永田 浩治

名誉首席 鈴木 清三 山口 浩一◇ 峰岸 壮一◇

名誉団友 奥山 澄雄 (前墨田区長) 朝比奈 隆 (指揮者) 実相寺昭雄 (演出家) 山本 直純 (指揮者)

団友 ルイ・グレーラー 福田 和子 長谷川 修 福崎至佐子 山崎 恵裕 斎藤 明 福田日出彦 木村 茉莉
山口 恭範 榎原 栄 大津千代子 裕川 雅雄 瀬戸 瑤子 田中 栄一 宮崎 隆男 井口 久美
山口 裕子 牛尾 京子 草地 一義 松波 恵子 市岡みゆき 古川原裕仁 常光 誠治 小川内一彦◇
植木 三郎◇ 関川 純二 中畑 幸子◇ 高瀬 晃也 千葉 馨 鈴木理恵子 植草ひろみ 宮川 暉雄◇
毛利 恭三◇ 成田 士◇ 根津 規子 杉江 弘伸◇ 磯崎 陽一 岡谷 治夫 松原 勝也 松原千代繁
田中 成行◇ 勝亦 健◇ 古賀 慎治 山崎 聡 酒井 紀子◇ 猪狩 光弘 栃窪 文雄 白尾 偕子
守山ひかる ゲルハルト・ワルブレヒト◇ 三界 秀実 篠原 辰夫 柴田 乙雄 会田 省三◇ 光信 利彦◇
支倉二二男 中谷 孝哉 西本 徳子◇ 牧田 齊◇ 玉之内 勉 黒田 絵奈 原 雅道 大倉 滋夫◇
山本 正治 金子 康夫 和田 健二◇ 小藤美由紀 小山 千鶴 花崎 薫 間垣 健二◇ 國枝 純一
桑原 浩 安江 正也

◇定年退職

新日本フィルの事業内容等につきましては、楽団HPで公開しております。

またこのAnnual Reportは新日本フィル財団内で承認され、内閣府公益認定等委員会に提出した「事業報告書」「財務諸表」を元に、多くの皆様に楽団の活動を知っていただきたいとの思いから、新日本フィル事務局において別途作成いたしました。

■ 2014年10月1日～ プロボノ賛助会員始めました。

プロボノ賛助会員……知識やスキル等でご支援をしていただく企業、団体

<プロボノ賛助会員>

(株)博報堂コンサルティング

<参考>

■プロボノとは……

職業上の専門知識や技能を生かした社会貢献活動。ラテン語で「公益のために」(Pro bono publico)の略語。

米国では、1993年に米国全米法曹協会が1993年に弁護士に年間50時間以上のプロボノ活動を推奨したことから始まり、税理士、会計士、経営コンサルタントから、一般企業に勤める営業職・事務職のホワイトカラーに拡大していった。市民活動の一つとして活発に活動がされており、「本業のための勉強になる」「異業種交流で視野が広がる」「自己実現につながる」などの声を受けて広がりがつつある。

日本では欧米外資系企業を除き、認知度はまだ低いですが、IT・経理・広報・デザインなど専門性が重視される分野で、公益法人など非営利組織を支援するプロボノ活動が行われつつある。

Annual Report 2013-2014

2014年11月1日発行

発行者 公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団

〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-3

すみだトリフォニーホール内

TEL. 03-5610-3820 www.njp.or.jp